

あもちやどりねこさん



おもちゃどりねこさん本文1

「みーくん、かたづけなさい。」

「やーだ。」

みーくんは、だいすきなおもちゃをならべて、とつてもごきげん。でももうねむるじかん。

「いつもおかたづけしないから、なんこ、おもちゃがなくなったことかしら。」

おかあさんはこまりがお。みーくんはしらんぷり。

「だいじにしないなら、だれにとられても、もんくいえないね。」

おかあさんはあきれてふとんをかぶってしまいました。みーくんもとなりにすべりこみます。

「あさおきたらすぐあそぶから、いいんだもん。」

みーくんはふかふかのおふとんでいいきもち。

カチャカチャ

ものおとがして、みーくんは、めをさましました。

ねぼけまなこをこすり、まくらもとのミニカーにてをのぼすと、みーくんよりさきに、ふさふさのけむくじゃらがミニカーをもちあげました。

「え？」

みーくんはめをこらしました。おとうさんよりもおおきい「なにか」。メロンあじのかきごおりのようなみどりのけに、おつきさまよりキンピカのめ。サンタみたいにおおきなふくろをさげていますが、いろはまっくろ。

「なにか」は、だいじなミニカーをふくろのなかへいれ、にんまり。

「ほほほ。たいりょうたいりょう。おもちゃがたくさんだしっぱなし。いいいえにやってきたもんだ。つみに、でんしゃに、おなべ。おや、いいものがあるぞ。」

つまみあげたのは、おおきなパトカーのおもちゃでした。あしでけりながらのる、おたんじょうびにもらった「たからもの」。

『ぼくのおもちゃたちが、つれていかれちゃうよ！』

みーくんは、もちあげられたパトカーにとびつきました。そして、パトカーごとどさっとふくろにいれられてしまいました。

「うわー。」

ふくろがおおきくゆれました。しばらくすると、そとがぼんやりあかるくなりました。

みーくんは、ふくろにあいたちいさなあなをみつけて、そとをのぞいてみました。「なにか」のけがひかっています。そして、まちのあかりがちいさくなって、ほしのようにみえました。

『どこまでいくのかな・・・』

みーくんはふあんになりました。でもどうしようもありません。

どれくらいたったのでしょうか。

「おもちゃどりねこさん！」

と、キイキイしたこえがきこえました。「なにか」のなまえは「おもちゃどりねこ」というよう

です。

おもちゃどりねこさん本文2

「きょうはいいのがたくさんだよ。ほら。」

たくさんのおもちゃといっしょに、みーくんもころころりーん。

「いててて。」

「ぎにゃー！」

ねこはびっくり。しっぽはぼさぼさ、めはまんげつみたいにまんまる。つややかなはなを、ぐいっとみーくんによせました。

「くんくん。さっきのいえのこだね。あのちらかしてあったおもちゃと、おんなじにおい。」

「そ、そう！ぼくのなの。もっていかないでよお。」

「かたづけてもらえない、かわいそうなおもちゃは、だれのものでもない。みんなのものだ。だからわしがもらったところで、ふしぎでないよ。」

「だいじなおもちゃなのお。かえしてよう。」

なみだでぐしょぐしょのみーくんを、おもちゃどりねこさんはふわんとだっこしました。

「だいじだということはわかった。でも、きみはおもちゃをかたづけなかったろう。だからきょうのところは、おもちゃをかしてくれないか。みんな『ちじょう』のおもちゃであそびたいんだ。」

「みんな？」

「こぐまざようちえんの、ほしのこたちだよ。」

ねこのゆびさすほうには、キラキラとひかるかみのけのこどもたち。あか、あお、きいろ、いろいろです。

「おもちゃ！おもちゃ！」

「まちくたびれたよう。」

「このこはだあれ？かみがひかってないね。」

「ちじょうのこだよ。なまえは・・知らないな。」

「ぼく、みーくん！」

「きょうのおもちゃはとくべつだ。みーくんのおもちゃなんだ。『もちぬし』のあるだいじなおもちゃだ、あそびおわったらみーくんにかえすんだぞ。」

「わかった！みーくん、かーしーて！」

「いーいーよ！」

みーくんはうれしくなり、ほしのこたちといっぱいあそびました。おれいにもらった、ほしのかたちをしたクッキーやアメはとくべつなあじがしました。

やがて、ひがしからさしたひかりがすうっとちじょうのおほしさまをけしていきました。

「おひさまのにおいがしてきたからほしのおうちにかえらなくっちゃ。ありがとう、みーくん。」

「こんどはきちんとかたづけるんだぞ。でないと、わしがまたとりにいくぞ。」

「もうぼくちらかさないよ。きちんとかたづける。」

「さよなら。」

おもちゃどりねこさんが、くろいもうふをふわりとかけると、みーくんはきゅうにねむくなりました。

とりのこえで、おかあさんはめをさましました。さわやかなしろいあさです。

「あら？いつのまにかたづけたのかしら。」

おもちゃは、きちんとかたづけられていました。みーくんはぐっすりねむっています。パジャマのポケットからは、ほしのかたちのアメがっこ、かおをのぞかせていました。